

I 計画の目指す姿

1 計画の目指す姿

新たな県政運営の基本方針となる「くまもとの夢4ヵ年戦略」の中で掲げた「長寿安心くまもと」を踏まえて、高齢者が地域社会で自らの技能や意欲を活かすことができる「くまもと」を目指すこととしています。

<計画の目指す姿>

「“高齢者がいきいきと輝き、長寿を楽しめる”くまもと」

すべての高齢者が、

- 暮らしたいと思う地域・場所で
- 快適かつ安心・安全に
- 生きがいを持ちながら

自立して長寿を全うすることのできる熊本を目指します。

◆ 「くまもとの夢4ヵ年戦略」について

熊本の可能性を大きく飛躍させるため、平成20年度からの4年間（平成24年3月まで）の新たな県政運営の基本方針となる「くまもとの夢4ヵ年戦略」を策定しました。

この戦略は、県民の皆様と共有したい「くまもとの夢」の実現を目指すものです。

「くまもとの夢」とは、県民が誇りを持てる郷土で、生まれ育ち、夢を持ち、働き、そして老いても安心して暮らせるような「生まれてよかった、住んでよかった、これからもずっと住み続けたい」と思える熊本が実現されることです。

この戦略は、4つの分野で構成されており、そのひとつに「長寿安心くまもと」が掲げられています。

「長寿安心くまもと」は、誰もが生涯を通じて喜びや誇りを実感できるよう、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず、「県民一人ひとりが人権を尊重され、健やかに生き甲斐を持って力を発揮できる社会」を目指すものです。また、地域社会において人と人とがつながり、支え合いながら、保健、医療、福祉の連携強化により総合的なサービスが受けられる「住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会」を目指しています。

2 基本理念

「高齢者がいきいきと輝き、長寿を楽しめる」くまもと」を目指して、4つの基本理念を念頭において、この計画を策定しました。

<基本理念>

- 高齢者の尊厳の尊重
- 高齢者の自立支援と社会参加・参画の推進
- 利用者本位の視点の重視
- 地域ケアの実現

(1) 高齢者の尊厳の尊重

人生の最期まで個人として尊重され、その人らしく暮らしていくことはすべての人の願いです。高齢者一人ひとりの生き方や考え方が尊重された生活を送ることができる社会の実現に努めます。

高齢者の尊厳を尊重することの基本は、日常生活における自由な意思決定を積み重ねていくことです。高齢者一人ひとりが暮らしたいと思う地域・場所で、高齢者自身の自己決定を最大限に尊重した支援やサービスが提供されるシステムの確立を目指します。

さらに、高齢者に対する虐待や詐欺行為等から高齢者の権利利益を擁護するためのシステムの確立を目指しています。

(2) 高齢者の自立支援と社会参加・参画の推進

いつまでも健やかに暮らしたいという高齢者の願いを実現していくため、高齢者の自立につながる健康づくり・介護予防の取組みを支援します。

今後、急速な高齢化と人口減少が同時に進行する中で、高齢者が地域社会の担い手として、これまで培ってきた能力や経験を活かしていくことが不可欠です。

そのために、高齢者の新たな分野へのチャレンジ・仲間づくりを支援するとともに、その知識や能力、技能を活かし、活躍できる場や機会の提供によって、高齢者の自立支援と社会参加・参画を推進します。

高齢者が、住み慣れた地域の中で、安心して自立した日常生活を営むためには、地域住民相互の連帯、心のつながり、そのためのシステムの構築が不可欠であり、地域住民等が、地域福祉の担い手となって行う自主的、主体的な取組みを支援していきます。

(3) 利用者本位の視点の重視

「利用者本位」を現実のサービス選択において実現するため、介護サービス情報の公表等の取組みを推進するとともに、利用者の意思決定の補完、支援のための取組みの充実に努めます。

高齢者一人ひとりの生活実態に応じて、介護保険サービスやさまざまな生活支援サービスが一体的に提供されるよう、総合的なサービス提供システムの確立を目指します。

また、必要とされるサービスが必要な時に提供されるよう、引き続き多様なサービス基盤の整備を進めます。

住民に最も身近な行政主体である市町村が、地域の実情や住民ニーズを踏まえて、創意工夫を活かした施策を展開していくことができるよう、市町村の自主的・主体的な取組みを支援していきます。

(4) 地域ケアの実現

高齢者の地域ケアとは、中重度者に対応する「介護サービス」、365日24時間の安心を提供する「見守りと住まい」、そして「在宅医療」を柱として、「自立支援」つまり高齢者が地域の中で人間としての誇りを持って生活し続けることを支援することです。

その際、保健、医療、福祉の各分野の専門職やボランティアなど地域のさまざまな資源を統合した包括的なケアを提供するなど、医療と介護・福祉のサービスが相互に連携し、切れ目なく一体的、複合的に提供されることが必要です。

こうした取組みを通じて、本県のすべての高齢者が暮らしたいと思う地域や場所で、快適かつ安全、安心に、生きがいを持ちながら、自立して長寿を全うすることができるよう支援する体制の確立を目指します。